

2009年度日本文化人類学会 第5回理事会 議事録

日時：9月27日（日）14：00－17：00

場所：上智大学 四ッ谷キャンパス 2号館 2-630a

出席者：山本、赤堀、上杉、春日、葛野、窪田、栗田、桑山、佐々木、須藤、瀬川、関根久雄、
鷹木、名和、和崎

委任状提出：太田、鏡味、岸上、坂井、関根康正、松田、吉岡

欠席者：瀬川

〔承認事項〕

1. 2009年度第3回理事会議事録案
 - ・前回（2009年度第3回）理事会議事録を文言調整の上、承認。
2. 2009年度第4回理事会議事録案
 - ・理事会メーリングリストによる持ち回り理事会（2009年度第4回）議事録を文言調整の上、承認。
3. 新入会員の承認
 - ・新入会員（14名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
4. その他
 - ・学会誌掲載論文について総務会が転載を許諾（下記2件）したことを報告の上で事後承認。
今後は形式に則ったものについては承認を総務会へ一任し理事会へ事後報告することとした。
 - 1) 日本図書センター
対象論文：広瀬浩二郎「バリアフリーからフリーバリアへー近代日本を照射する視覚障害者たちの”見果てぬ夢”」(PP.379-396)『文化人類学』第70巻第3号（日本文化人類学会・2005年刊）より
→収録巻：岩田正美監修「リーディングス 日本の社会福祉」（全8巻）※2010年5月刊行予定
 - 2) 山下晋司会員
Gordon Mathews, "Why Japanese Anthropology is Ignored Beyond Japan, JRCA Vol 9, 2009, pp.53-69
=>Yamashita,S.,Jerry Eades (eds.), "Making an Interactive Anthropology in Asia and Beyond : Towards a Global Anthropology" (Berghahn Books, 2010 刊行予定、仮題)に転載

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・第43回研究大会の赤字補填に関し7月19日に総務会を開催したこと、研究大会準備委員会より会計報告を受け、学会から補填する金額の確定を行ったことを報告。
 - ・「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会の報告書」が提出されたことを報告。学会とし

てアイヌ研究の振興を要望するために学会声明を出す必要があり、栗田総務担当理事が原案を作成し、次回理事会で審議の上、会長名で官房長官宛に提出することとした。

- ・2009年7月27日～31日に開催された国際人類学・民族学会議（ICAES）昆明大会について資料に基づき報告。IUAESの新役員の選出が行われ、小泉潤二氏（大阪大学）が事務局長に選出されたことを報告。会期中に開催されたWCAA会議について、資料に基づき報告。

2. 庶務理事報告・供花・弔電

- ・「大塚和夫さんを送る会」（7月20日）に際し供花を行ったことを報告。
- ・7月に逝去した故川喜田二郎氏の遺族へ弔電を送ったことを報告。
- ・第24回評議員選挙の選挙管理委員10名（理事委員4名、理事外委員6名）の選出について、委員を選出・委嘱したことを報告。
- ・第5回学会賞選考日程について確認。

3. 会計理事報告

- ・出版社著作権管理機構の著作権使用料について平成19年度分として24,000円を受け取ることを報告。

4. 総務理事報告

- ・日本学術会議より「学術団体における知的財産制度のあり方についてのアンケート調査（追加調査）」依頼があり回答したことを報告。
- ・日本学術振興会より「科学研究費補助金の審査に係る『系・分野・分科・細目表』の別表『時限付き分科細目表』の改正案に関する学協会からの意見募集」があったことを報告。意見がある場合には事務局まで2週間以内に連絡することとした。

5. 広報理事報告

- ・静岡大学より機関レポジトリへの掲載許諾依頼があり、条件付承諾を行ったことを報告。
- ・2009年度会員調査の準備に取り掛かることを報告。
- ・2009年11月14日開催予定の公開シンポジウムについて広報をウェブサイトに掲載する予定であることを報告。
- ・レンタル料削減のため学会サーバーの乗換えを検討していくことを報告。
- ・CiNiiへ学会誌が掲載されるまでに刊行から3、4ヶ月かかっていることを報告。
- ・学会ロゴ・シンボルマーク公募への応募が9月25日までに55件あったことを報告。

6. 各種委員会報告

- ・JRCA編集委員会&英文論文集検討委員会：第3回学会賞受賞論文の英訳が完成したことを報告。また、論文の投稿数が少ないことが報告され、投稿数を増やすための方策について意見交換が行われた。
- ・国際連携委員会：学会誌送付先リストを作成したことを報告。次回理事会で正式報告することとした。
- ・民博連携委員会：学会所有のインタビュー映像をDVD化したこと、2部作成し1部は学会で保管する予定であることを報告。今後は公開方法について検討を行うこととした。公開映像の選定や映像等からの書き起こし原稿の用途については委員会で検討することとした。
- ・学会歴史委員会：旧民族学振興会資料の取扱いについて神奈川大学と協議中であることを報告。また、資料の扱いに際しては慎重であることを求める文書を作成・送付することを報告。
- ・研究大会運営検討委員会：栗田理事、松田理事（委員長）、渡邊日日氏の3名による研究発

表査読委員会委員が設置されたことを報告。また、第44回研究大会の第1回サーキュラーが『文化人類学』74巻2号に挟み込まれること、例年より研究発表受付が早いことをJASCA-INFOで配信予定であることを報告。

- ・地区研究懇談会担当委員：各地区の研究會開催状況、開催予定を報告。窪田理事が神戸大学異動後も中四国地区研究懇談会を引き続き担当することとした。地区研究懇談会のあり方を再考する時期にきているのではないかとの意見があり、引き続き検討を行うこととした。
- ・倫理規定検討委員会：英文化を進めることを報告。

〔審議事項〕

1. 2009年度民博研究大会における赤字の補填
 - ・第43回研究大会準備委員会より提出された決算報告書に基づき、赤字額の確認を行なった。審議の結果、研究大会会場等で集められた寄付360,600円と学会予備費からの5,368円を赤字補填に充てることが承認された。
2. WCAA ウェブサイトの改訂及び維持費の拠出
 - ・山本会長より、現在あるWCAAのウェブサイトを作り替える予定であることが報告され、本学会の負担分として約300ポンドをWCAA費より拠出することについて提案があり、承認された。
3. IUAES 国内委員の選出
 - ・IUAES国内委員の次期委員として、審議の上、窪田幸子氏、竹沢泰子氏、名和克郎氏に決定した。
4. WCAA 日本代表 (Japan delegate) の選出
 - ・次期WCAA日本代表 (Japan delegate) として、現在、国際連携委員会委員長である窪田理事に決定した。
5. ログタイプおよびシンボルマークの選考方法
 - ・赤堀理事より、9月25日現在55通の応募があったこと、9月30日に締め切った後、11月上旬までに採用作品を決定する予定であることが報告され、選考手順について審議を行なった。承認された選考手順は次の通り。
 - ①ウェブ上で理事のみ閲覧可となるようにして応募作品を公開。
 - ②総務会で10点程度まで採用候補作品を選考。
 - ③総務会で選考された採用候補作品について理事による投票を実施。ただし、総務会で選考された採用候補作品以外の作品に投票することも可能とした。
6. その他
 - ・2010年度の学会主催公開シンポジウムについて、桑山理事が担当することとした。
 - ・栗田理事より、査読委員会の査読に係る事務費について予備費から支出したいとの要望があり、承認された。
 - ・春日理事より、CiNiiにおける『文化人類学』の公開条件について質問があり、有料公開の必要性が確認された。

以上